

■出演者プロフィール（一部抜粋）

*加藤健人（かとうけんと）



1985年10月24日。福島市出身。

小学校3年生からサッカーを始める。高校3年生の時、徐々に視力が落ち始め、レーベル病と診断される。2007年ブラインドサッカー日本代表に初選出。以来、代表の主力メンバーとして活躍し、現在は2020年東京パラリンピックでのメダル獲得を目指す。埼玉 T.Wings 所属。アクサ生命保険株式会社でセラピストとして働く。

*杉山文野（すぎやまふみの）



トランスジェンダー

特定非営利活動法人 東京レインボープライド 共同代表理事

NPO 法人 ハートをつなごう学校 代表

1981年東京都新宿区生まれ。フェンシング元女子日本代表。早稲田大学大学院にてセクシュアリティを中心に研究した後、その研究内容と性同一性障害である自身の体験を織り交ぜた『ダブルハピネス』を講談社より出版。韓国語翻訳やコミック化されるなど話題を呼んだ。卒業後、2年間のバックパッカー生活で世界約50カ国＋南極を巡り、現地でさまざまな社会問題と向き合う。帰国後、一般企業に3年ほど勤め、現在は自ら飲食店を経営するかたわら、日本最大のプライドパレードである特定非営利活動法人東京レインボープライド共同代表理事、セクシュアル・マイノリティの子供たちをサポートするNPO法人ハートをつなごう学校代表、各地での講演会やNHKの番組でMCを務めるなど活動は多岐にわたる。日本初となる渋谷区・同性パートナーシップ条例制定に関わり、現在は渋谷区男女平等・多様性社会推進会議委員も務める。

*斉藤りえ（さいとうりえ）



1984年青森県生まれ。32歳。一児の母。

1歳の時に病気により聴力を完全に失い、聴覚障がい者となる。ハンディキャップを持ちながらも、「人と関わることが好き」という信念からさまざまな接客業に挑戦。銀座の高級クラブ勤務時に、筆談を生かした接客で「筆談ホステス」として話題になる。半生を描いた書籍「筆談ホステス」はドラマ化もされ、“障がい者と社会”について考えるきっかけになったと高い評価を得る。

2015年5月より東京都北区議会議員。

2020年東京パラリンピックに向け、「心のバリアフリー」を実現すべく活動中。

*駒田徳広（こまだのりひろ）



1962.9.14 生まれ。奈良県出身。

在籍球団：巨人～横浜 背番号：10

ポジション：内野手 利き腕：左投左打

〈球歴〉

1981 読売ジャイアンツ入団

1994 横浜ベイスターズ

2000 現役引退

2005 東北楽天ゴールデンイーグルス打撃コーチ

2009 横浜ベイスターズ打撃コーチ

2016～ 高知ファイティングドッグス監督

〈通算成績〉

通算打率 2割8分9厘

2063 試合 6941 打数 2006 安打 195 本塁打 953 打点

2000 本安打達成 2000.9.6

〈獲得したタイトル〉

ベストナイン 1回（1998）

ゴールデングラブ賞 10回（1989～1991、1993～1999）

〈その他〉

満塁ホームラン 通算 13本(歴代3位)